



つれいし  
**連石 武則**  
水曜会  
(70分)



公共施設の包括施設管理業務は\*

**問** ①本市保有の公共施設の修繕などの業務を包括的に委託する契約を締結することのだが、その内容や対象施設は。  
②先行する自治体の現状や課題などは。

**答** ①これまで各施設、各課で保守点検や修繕の案件ごとに個別の事業者と契約してきたが、包括的な委託により市と事業者双方に発生していた契約手続きなどを省力化するものである。また、5年間で約7千9百万円の節減を見込む。対象施設は学校、保育施設、交流館等311施設としている。  
②現在約40の自治体で導入され、民間ノウハウの活用による安全管理水準の向上や施設管理の効率化が図られていると聞いている。地元事業者の理解を得ることが課題とされ、効果を最大限に発揮するためには各施設の状況に精通した地元事業者の協力が欠かせないと考える。今後、導入の目的や業務の進め方などを丁寧に説明していく。



いしぐち  
**石口 智志**  
水曜会  
(60分)



有害鳥獣対策は

**問** ①イノシシ対策にはバッファゾーンを設けることが有効である。県管理の河川敷の付近にも民家があり、農作物だけでなく人的被害への不安もある。県との協議も可能と思うが、本市の考えは。  
②わな猟の資格を持つ人が捕獲に携わるケースが多くあるが、捕獲班に入れず無報酬の状態が続いている。本市の考えは。

**答** ①河川敷の樹木や雑草が生息域や潜み場となっていることから、雑草などの撤去を引き続き県に要望していく。  
②捕獲班は、市の指示により担当する活動区域内での緊急時の出動や捕獲活動を実施し、それに対して報償金を支給している。これまでも猟友会に対し、わな猟師の加入依頼をしてきたが、引き続き協議していく。  
\*その他、駅周辺のにぎわい創出、教育行政について質問しました。



樹木が茂っている河川敷



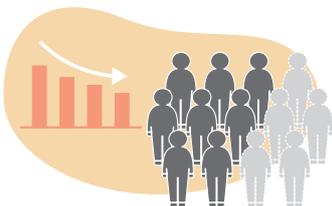
はた  
**羽田 俊介**  
水曜会  
(60分)



人口減少社会への対応は

**問** 来たるべき人口減少社会に備えて今から必要な対応および展望は。

**答** 福山で学び、働き、子育てできる環境を整え、安心と希望を実感できる都市の実現をめざすことが何よりも重要と考える。このため、福山市立大学の学部新設に取り組み、理系人材の育成に努めるとともに、(仮称)グリーンなものづくり企業プラットフォームを構築し人材の確保などにつなげる。また、仕事と子育ての両立支援など福山ネウボラの取り組みを強化し、未婚化、晩婚化の背景にある課題の解決にも全力で取り組む。これまで備後圏域の活力維持のため中枢都市として広域連携の取り組みをリードしてきた。各市町の独自性や個性を生かし、連携をさらに強化することで圏域としても一体的に人口減少対策に取り組む。  
\*その他、外国人との共生社会、福山夏まつり2023などについて質問しました。



\*包括施設管理：施設の保守点検、修繕などの複数の業務を包括的に（まとめて）民間に委託することで、より効率的に施設の管理を行っていく方法

\*バッファゾーン：人里に近い森林を広範囲に伐採し、野生動物の生息域と人里を隔てるために整備した地帯